

『精選 論理国語』（論国 703）年間学習指導計画作成のための資料

月	単元名	教材名 ●学習目標 ◇言語活動例	時	主な学習活動	評価規準
4	【第一部】 論理国語へのいざない（読む）	論理力と思考力 ●思考力と対比して論理力とは何かを考える。（読ア） ◇論理的な文章や実用的な文章を読み、その内容や形式について、批評したり討論したりする活動。（読ア）	8	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「論理力とは、……にほかならない。」とはどういうことか、筆者の考えを整理する。 2 次の①②の推論は正しいか正しくないか、根拠と結論のつなぎ方に着目して判定する。 ①彼は愛想が悪い。だから、営業に向かない。 ②自己管理ができていない人は風邪を引く。逆にいえば、風邪を引くやつは自己管理ができていない。 3 次の①②の伝わり方の違いを説明する。 ①Aさんは仕事が早い。しかし、ミスもする。 ②Aさんは仕事が早い。ただし、ミスもする。 4 「論理力」と「思考力」の関係はどのようなものか、話し合う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。(1)ウ) 思・判・表 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要旨を把握している。(読ア) 主 ・進んで文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深め、学習課題に沿って、論理の展開を的確に捉えて要旨を把握し、文章の内容について説明したり話し合ったりしようとしている。
		納得の構造 ●論理の組み立てと文章構成の関係について理解する。（読ア） ◇論理的な文章や実用的な文章を読み、その内容や形式について、批評したり討論したりする活動。（読ア）		◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「普段私たちが物事を……いるわけではない。」とはどういうことか、まとめる。 2 「日本とアメリカの……比べてみよう。」とあるが、両者の「作文構造」についてそれぞれまとめる。 3 「日本の起承転結とアメリカのエッセイの顕著な違い」について、筆者の考えをまとめる。 4 『演繹的』作文と『帰納的』作文とでは、読み手の受け止め方にどのような違いがあるか、話し合う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	
		情報の「メタ」化 ●情報の「メタ化」を理解し、思考を整理する方法を考える。（読ア） ◇論理的な文章や実用的な文章を読み、その内容や形式について、批評したり討論したりする活動。（読ア）		◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「同じ新聞でも、……第二次情報である。」とあるが、「第一次情報を第二次情報に変える方法」の具体例を本文からあげ、整理する。 2 「我々が自分で考えた事柄……が考えられる。」とあるが、「段階的抽象化」を進める具体例を本文からあげ、整理する。 3 筆者の考える「思考の整理」とはどのようなものか、本文全体をとおしてまとめる。 4 新聞記事の情報を素材（第一次情報）として取りあげ、より高次の情報（第二次、第三次情報）に整理する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	
		学びを広げる 中身当てクイズ [コラム]「流れ」と「構え」 ●情報から導いた答えを論理的に説明してみよう。（読ア） ◇論理的な文章や実用的な文章を読み、その内容や形式について、批評したり討論したりする活動。（読ア）		◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「中身当てクイズ」を解いてみる。 2 手をあげたカップは、どのような情報をもとに答えを導き出したのか、筋道を立てて説明する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア) 思・判・表 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要旨を把握している。(読ア) 主 ・進んで情報と情報との関係について理解を深め、学習課題に沿って、論理の展開を的確に捉え、筋道を立てて説明しようとしている。

月	単元名	教材名 ●学習目標 ◇言語活動例	時	主な学習活動	評価規準
5	二 「情報社会」を生きるⅠ（読む）	<p>ぬくみ</p> <p>●都市生活における自己と他者の関係について考える。（読キ）</p> <p>◇社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を読み、それらの内容を基に、自分の考えを論述したり討論したりする活動。（読イ）</p>	9	<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 近代の都市生活が寂しいものである理由を整理する。</p> <p>2 「個人はその神経を……社会になっていった。」とあるが、どういうことか説明する。</p> <p>3 「現代の都市生活者……疼きとなって現象している」とは、どういうことか説明する。</p> <p>4 「こうした他者との遮断の認識」とあるが、どういうことか説明する。</p> <p>5 「現代生活」における「相互性」、「他者への想像力」の大切さについて具体例を基に話し合う。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>知・技</p> <p>・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。（(1)イ）</p>
		<p>ネット上の発言の劣化について</p> <p>●情報の階層化が進むなかで「言論の自由」の意味について考える。（読キ）</p> <p>◇社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を読み、それらの内容を基に、自分の考えを論述したり討論したりする活動。（読イ）</p>		<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 「それだけ言論統制が……整っていたとも言える。」とあるが、どういうことか説明する。</p> <p>2 「マス言論というのは、……メタ情報」である。」とはどういうことか、筆者の考えをまとめる。</p> <p>3 「情報の階層化」とはどういうことか、筆者の考えをまとめる。</p> <p>4 「『情報』はその自体的な……意味がある。」とは、どういうことか説明する。</p> <p>5 「『言論の自由』という原理」について、筆者の考えを説明する。</p> <p>6 「『言論の自由』に対する侵害」として筆者が指摘することについて話し合う。</p> <p>7 前項の話し合いをふまえ「今のネット上の発言に見る一般的傾向」について考えたことを600字程度にまとめる。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>思・判・表</p> <p>・設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。（読キ）</p>
		<p>マルジャーナの知恵</p> <p>●「情報の商品化」という資本主義の現象を理解する。（読キ）</p> <p>◇社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を読み、それらの内容を基に、自分の考えを論述したり討論したりする活動。（読イ）</p>		<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 「マルジャーナの知恵」とはどのようなものか、まとめる。</p> <p>2 「差異から利潤を創り出す」とは、どのようなことか、次の項目ごとに整理する。</p> <p>①商業資本主義 ②産業資本主義</p> <p>3 「高度情報社会、……と呼ばれる事態」とは、どのようなものか説明する。</p> <p>4 「情報の商品化」には、どのようなものがあるか、身の回りから具体例をあげ話し合う。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>主</p> <p>・進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習課題に沿って、複数の文章や資料を基に自分の考えを広げ、論述したり討論したりしようとしている。</p>
		<p>学びを広げる 情報社会について考える</p> <p>[コラム]遅いインターネット</p> <p>●情報社会を生きるうえで大切なことは何か、考えたことを発表しよう。（読キ）</p> <p>◇社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を読み、それらの内容を基に、自分の考えを論述したり討論したりする活動。（読イ）</p>		<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 本単元で学んだことをふまえ、「情報社会」を生きるうえで大切なことは何かについて、考えたことを発表する。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>知・技</p> <p>・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。（(2)ア）</p>
					<p>思・判・表</p> <p>・設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。（読キ）</p>
					<p>主</p> <p>・進んで主張とその前提との関係について理解を深め、学習課題に沿って、必要な情報を関係付けて自分の考えを深め、発表しようとしている。</p>

月	単元名	教材名 ●学習目標 ◇言語活動例	時	主な学習活動	評価規準
6 7	三 環境問題を考える(読むこと)	<p>世代間倫理としての環境倫理学</p> <p>●未来世代への責任という観点から環境問題を考える。(読イ)</p> <p>◇関心をもった事柄について様々な資料を調べ、その成果を発表したり報告書や短い論文などにまとめたりする活動。(読オ)</p>	10	<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 「近代的な決定システム……しつがある。」とは、どのようなことを言っているか説明する。</p> <p>2 「現代は進歩が……時代なのである。」とは、どのようなことを言っているか説明する。</p> <p>3 「進歩が退廃である時代に生きている。」とは、どのようなことを言っているか説明する。</p> <p>4 筆者は、なにが「現在世界の最も中心的な課題である。」と論じているのか、まとめる。</p> <p>5 未来世代への責任を果たすため環境問題に取り組んでいる身の回りの例を調べ、発表する。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>知・技</p> <p>・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。(1)エ)</p> <p>思・判・表</p> <p>・文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。(読イ)</p> <p>主</p> <p>・進んで文章の構成や展開の仕方について理解を深め、学習課題に沿って、文章の内容や構成を的確に捉え、調べた成果を発表しようとしている。</p>
		<p>人類による環境への影響</p> <p>●人類史から環境問題を考える。(読イ)</p> <p>◇関心をもった事柄について様々な資料を調べ、その成果を発表したり報告書や短い論文などにまとめたりする活動。(読オ)</p>		<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 筆者の考える「共生型戦略」と「征服型戦略」について、それぞれ整理する。</p> <p>2 「征服型戦略が……あり続けることはできない。」とあるが、その理由を説明する。</p> <p>3 「人類は現在、……いるのだろうか。」とあるが、人類の地球生態系の利用状況について整理する。</p> <p>4 「生態系の跳躍的变化によるカタストロフ」とは、どのようなことか説明する。</p> <p>5 「生態系の跳躍的变化によるカタストロフを避ける」ために、どのような取り組みが行われているか調べ発表する。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	
		<p>学びを広げる環境問題について考える (資料)「企業の社会的責任(CSR)」について</p> <p>[コラム]「人新世」の環境危機</p> <p>●「企業の社会的責任(CSR)」について調べ、考えたことを発表しよう。(読カ)</p> <p>◇関心をもった事柄について様々な資料を調べ、その成果を発表したり報告書や短い論文などにまとめたりする活動。(読オ)</p>		<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 資料を参考に、「企業の社会的責任(CSR)」への取り組み例を調べ、「トリプルボトム・ライン」の観点から評価したり、話し合ったりした内容を発表する。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>知・技</p> <p>・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア)</p> <p>思・判・表</p> <p>・人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。(読カ)</p> <p>主</p> <p>・進んで情報と情報との関係について理解を深め、学習課題に沿って、文章の内容を多様な論点や異なる価値観と結び付け、調べた成果を発表しようとしている。</p>

月	単元名	教材名 ●学習目標 ◇言語活動例	時	主な学習活動	評価規準
9	四 言葉をつめるⅠ(読むこと)	記号を使う動物 ●記号としての言語について理解する。(読オ) ◇同じ事柄について異なる論点をもつ複数の文章を読み比べ、それらを比較して論じたり批評したりする活動。(読エ)	8	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「既成の語形と……ずらしてみる。」とはどういうことか、「焰のつらら」という比喩を使って説明する。 2 「人間の記号による営み」にはどのような面があるか、本文中の「ブーボー」と「マンマ」の例をもとに説明する。 3 「一つの言語を……ことでもある」とはどういうことか、日本語のほか英語などの例をあげて説明する。 4 「人間は確かに……なのである。」とはどういうことか、文章全体をとおして説明する。 5 身近にある「言語創造」の例を、詩、小説、歌詞などから探して発表する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。(1)ア)
		言葉がつくる女と男 ●言葉とアイデンティティの関係について考える。(読オ) ◇同じ事柄について異なる論点をもつ複数の文章を読み比べ、それらを比較して論じたり批評したりする活動。(読エ)		◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「言葉とアイデンティティの関係」において、次の考え方をそれぞれ説明する。 ①本質主義 ②構築主義 2 「実は『女言葉』や……言語資源なのである。」と筆者が述べている理由を説明する。 3 「服装や言葉がアイデンティティと結びつく」と筆者が述べている理由をまとめる。 4 漫画、アニメ、小説、記事、ドラマ、映画などから「集団のカテゴリーと結びついた言葉遣いの情報」の例をあげ、話し合う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	思・判・表 ・関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。(読オ)
		学びを広げる 言葉の力について考える [コラム] ツイッター哲学 ●読み比べをとおして「創造性」という観点から、言葉の力について論じよう。(読エ) ◇同じ事柄について異なる論点をもつ複数の文章を読み比べ、それらを比較して論じたり批評したりする活動。(読エ)		◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 本単元の教材を読み比べ、それぞれの文章が「言葉の創造的な側面」をどのように論じているか500字程度でまとめる。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。(1)ア)
				主 ・進んで言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする言葉の働きを理解し、学習課題に沿って、関連する文章の書き手の立場や目的を考えながら内容の解釈を深め、比較して論じようとしている。	
					思・判・表 ・文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。(読エ)
					主 ・進んで言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする言葉の働きを理解し、学習課題に沿って、文章を多面的・多角的な視点から評価し、複数の文章を比較して論じようとしている。

月	単元名	教材名 ●学習目標 ◇言語活動例	時	主な学習活動	評価規準
10	五 生命について考える(書くこと)	病と科学 ●「痛み」に着目して医療や科学の限界について考える。(書イ) ◇設定した題材について多様な資料を集め、調べたことを整理して、様々な観点から自分の意見や考えを論述する活動。(書エ)	8	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 病気をめぐる「科学信仰」について整理する。 2 「科学が万能であるかのような錯覚に陥る」理由をまとめる。 3 「病人から苦しみを……奪われていく」理由をまとめる。 4 人間は科学とどのように向き合うべきか、筆者の考えをまとめる。 5 倫理的問題をはらんでいる科学技術について具体例を調べ話し合う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ)
		動的平衡 ●生命とは「動的平衡」のシステムであるという考え方を理解する。(書イ) ◇設定した題材について多様な資料を集め、調べたことを整理して、様々な観点から自分の意見や考えを論述する活動。(書エ)		◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「生命とは何か。」に対するさまざまな回答を、次の観点から整理する。 ①生命への機械論的な理解 ②二十世紀的な見方 ③シェーンハイマーの動的平衡論 2 シェーンハイマーの研究成果を本文に即してまとめる。 3 「サステナブルであること」を筆者はどのように捉えているかまとめる。 4 筆者がシェーンハイマーの業績を「コペルニクスの転回」「二十世紀最大の科学的発見」と述べる理由をまとめる。 5 筆者は科学・技術とどのように向き合うべきだと考えているかまとめる。 6 バイオテクノロジーの「現在」について、どのようなものがあるか調べ発表する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	思・判・表 ・情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。(書イ)
		ゲノム編集とiPS細胞 ●生命科学の可能性と課題について考える。(書イ) ◇設定した題材について多様な資料を集め、調べたことを整理して、様々な観点から自分の意見や考えを論述する活動。(書エ)		◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 ゲノム編集技術はどのような点で画期的なのか説明する。 2 「医学研究の進展……扱う必要がある」のはなぜか、筆者の考えをまとめる。 3 ゲノム編集の「臨床応用」の具体例についてまとめる。 4 科学技術とどのように向き合うべきか、筆者の考えをもとに話し合う。 5 「ゲノム編集」や「iPS細胞」の「よい側面とよくない側面」についてどのような議論がされているのか調べる。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	主 ・進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習の見通しをもって、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら主張を支える適切な根拠をそろえ、調べたことを整理して論述しようとしている。
		学びを広げる 生命について考える (資料)iPS細胞と生命倫理 [コラム]倫理の窓から見たiPS細胞 ●さまざまな観点から生命について調べ、自分の考えを文章にまとめよう。(書オ) ◇設定した題材について多様な資料を集め、調べたことを整理して、様々な観点から自分の意見や考えを論述する活動。(書エ)		◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 本単元で学んだこと、調べたことを整理し、資料を読んで、生命科学や生命倫理について自分の考えを800字程度にまとめる。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。(2)イ)
				思・判・表 ・個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。(書オ)	主 ・進んで情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め、学習課題に沿って、表現の仕方や段落の構造を吟味し、自分の考えを論述している。

月	単元名	教材名 ●学習目標 ◇言語活動例	時	主な学習活動	評価規準
11	六 芸術について考える(書くこと)	<p>ミロのヴィーナス</p> <p>●ミロのヴィーナスの「魅力」について考える。(書エ)</p> <p>◇設定した題材について、分析した内容を報告文などにまとめたり、仮説を立てて考察した内容を意見文などにまとめたりする活動。(書イ)</p>	10	<p>◆学習目標を確認し、学習の見直しをもつ。</p> <p>1 この文章は三つの部分に分かれている。それぞれの要旨をまとめ、小見出しを付ける。</p> <p>2 次の表現について、それぞれわかりやすく説明する。</p> <p>①「部分的な具象の放棄による、ある全体性への偶然の肉薄」</p> <p>②「表現における量の変化ではなくて、質の変化である」</p> <p>③「手というものの、人間存在における象徴的な意味」</p> <p>3 「ほかならぬ……奏であるのである。」とはどういうことか、筆者の考えをまとめる。</p> <p>4 次の表現の工夫とその効果について説明する。</p> <p>①「そのとき彼女は、その両腕を、……秘密の場所にうまく忘れてきたのであった。」</p> <p>②「その雰囲気にも一度でも引きずり込まれたことがある人間は、……どんなにみごとな二本の腕であるとしても。」</p> <p>③「一方にあるのは、おびただしい夢をはらんでいる無であり、もう一方にあるのは、……なんらかの有である。」</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>知・技</p> <p>・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア)</p> <p>思・判・表</p> <p>・多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。(書エ)</p> <p>主</p> <p>・進んで主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深め、学習の見直しをもって、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直し、考察した内容をまとめようとしている。</p>
		<p>空白の意味</p> <p>●芸術作品における「空白」の意味について考える。(書エ)</p> <p>◇設定した題材について、分析した内容を報告文などにまとめたり、仮説を立てて考察した内容を意見文などにまとめたりする活動。(書イ)</p>		<p>◆学習目標を確認し、学習の見直しをもつ。</p> <p>1 『『空白』あるいは……結びついている。』とはどういうことか、筆者の考えをまとめる。</p> <p>2 「逆説的な……育んできた。」とはどういうことか、筆者の考えを説明する。</p> <p>3 筆者が長谷川等伯の「松林図」をもとに論じていることを、次の五つの語句を必ず用いて200字以内でまとめる。</p> <p>・空白 ・イメージネーション ・逆説</p> <p>・美意識 ・コミュニケーション</p> <p>4 筆者のいう日本の美意識についてどう考えるか、具体例をあげ600字以内で論じる。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	
		<p>学びを広げる 美術作品を紹介しよう</p> <p>[コラム]「あなただけのかえる」の見つけ方</p> <p>●自分の感じたことや考えたことをもとに、美術作品の紹介文を書いてみよう。(書ウ)</p> <p>◇設定した題材について、分析した内容を報告文などにまとめたり、仮説を立てて考察した内容を意見文などにまとめたりする活動。(書イ)</p>		<p>◆学習目標を確認し、学習の見直しをもつ。</p> <p>1 紹介したい美術作品を一つ取りあげ、自身の感じたことや考えたことをもとに、紹介文を書き、発表する。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>知・技</p> <p>・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。(1)エ)</p> <p>思・判・表</p> <p>・立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。(書ウ)</p> <p>主</p> <p>・進んで文章の構成や展開の仕方について理解を深め、学習課題に沿って、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫し、分析した内容や考察した内容を紹介文にまとめようとしている。</p>

月	単元名	教材名 ●学習目標 ◇言語活動例	時	主な学習活動	評価規準
12 月 1	七 科学技術と人間 (読むこと)	「なぜ」に答えられない科学 ●科学の知とはどのようなものかを理解する。(読イ) ◇学術的な学習の基礎に関する事柄について書かれた短い論文を読み、自分の考えを論述したり発表したりする活動。(読ウ)	8	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「現在の自然科学の……することにある。」とあるが、どういことかニュートンの例を用いて説明する。 2 「神の存在と……なかったのだ。」とあるが、その理由を説明する。 3 次の部分を筆者はどのようなものだと述べているか、それぞれ整理する。 ①「神はサイコロ遊びをしない」 ②「サイコロ遊びが好きな神を受け入れればよい」 4 「科学者が神を持ち出す」理由を、科学者と神の関係に注目し、具体例をあげて説明する。 5 科学の法則の「適用限界」が問題になるのはどのような場合か、具体例をあげて話し合う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1イ) 思・判・表 ・文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。(読イ) 主 ・進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習課題に沿って、資料との関係を把握して内容や構成を的確に捉え、自分の考えを論述しようとしている。
		AI時代の「人間」 ●AIとの対比から「人間」についての理解を深める。(読イ) ◇学術的な学習の基礎に関する事柄について書かれた短い論文を読み、自分の考えを論述したり発表したりする活動。(読ウ)	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 『「人間とは何か』という……大きく変化してきた。』とは、どのようなことかまとめる。 2 『「人間にできて……なっていくはずだ。』とあるが、その理由をまとめる。 3 「ロボットやAIに反射される人間」とは、どのようなものか整理する。 4 「人間は一種の……獲得してきた。』とはどのようなことか、筆者のあげている例を整理する。 5 「私たちは世界に開かれていなければならない。』とはどういことか、筆者の考えをまとめる。 6 「開かれた世界で、……扉を開くのだ。』という筆者の考えについてどのように思うか、600字程度にまとめる。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。		
		学びを広げる 科学技術と人間について考える [コラム]人間を「機械」にする罫 ●学術的な文章を読んで、「科学技術と人間」について自分の考えを発表しよう。(読カ) ◇学術的な学習の基礎に関する事柄について書かれた短い論文を読み、自分の考えを論述したり発表したりする活動。(読ウ)	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 本単元で学んだことをもとに、次の課題に取り組む。 ①「AI」が重視される場面と「人間」の能力が重視される場面には、どのような違いがあるか、具体例をあげて話し合う。 ②「人間」とは何か、というテーマで800字程度の論文を書く。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。(2イ) 思・判・表 ・人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。(読カ) 主 ・進んで情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め、学習課題に沿って、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付け、自分の考えを論述しようとしている。	

月	単元名	教材名 ●学習目標 ◇言語活動例	時	主な学習活動	評価規準
2 3	八 「市民社会」 について考える (読むこと)	<p>「市民」のイメージ</p> <p>●アメリカの陪審制度の事例をもとに「市民」の意味について考える。(読イ)</p> <p>◇社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を読み、それらの内容を基に、自分の考えを論述したり討論したりする活動。(読イ)</p>	10	<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 筆者がテレビで見たアメリカの陪審制度はどのようなものか整理する。</p> <p>2 「普通人間が『市民』に変貌する」とはどのようなことかまとめる。</p> <p>3 筆者の考える「市民社会」とはどのようなものか説明する。</p> <p>4 「我々は『市民』に……『市民』になるのだ。」ということは、現代社会においてどのような意味をもつのか話し合う。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>知・技</p> <p>・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ)</p> <p>思・判・表</p> <p>・文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。(読イ)</p>
		<p>「である」と「する」こと</p> <p>●「市民社会」における権利と義務について考える。(読イ)</p> <p>◇社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を読み、それらの内容を基に、自分の考えを論述したり討論したりする活動。(読イ)</p>		<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 節ごとに要点をまとめる。</p> <p>2 次の部分はどのようなことを言っているか、簡潔に説明する。</p> <p>①アームチェアから……気性の持ち主 ②ある面では……過近代的でもある ③「である」社会のモラルによってセメント化されてきた ④芸術や教養は「果実よりは花」 ⑤政治には……価値などというものはない ⑥ラディカル(根底的)な……結びつくこと</p> <p>3 「である」論理・「する」論理とはどのようなものか、対になっている例を本文から抜き出し、それぞれ説明する。</p> <p>4 身近な問題を取りあげ、「である」論理と「する」論理の観点から、800字程度の文章を書く。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>主</p> <p>・進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習課題に沿って、資料との関係を把握して内容や構成を的確に捉え、自分の考えを論述したり討論したりしようとしている。</p>
		<p>学びを広げる 「市民社会」について考える (資料)国政選挙における 年代別投票率について</p> <p>[コラム] 懐疑をいかに乗り越えるか</p> <p>●資料を読み、「市民社会」について自分の考えをまとめ、討論しよう。(読カ)</p> <p>◇社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を読み、それらの内容を基に、自分の考えを論述したり討論したりする活動。(読イ)</p>		<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 次のような手順で、現状を分析しつつ「選挙権」の意義について、自分の考えを800字程度にまとめる。</p> <p>①本単元の学びから、「選挙権」の意義について考える。</p> <p>②次の観点到留意して、資料から読み取れることを指摘する。</p> <p>・どのような「課題」を発見したか、その背景とともに考える。</p> <p>・「課題」を解決するにはどのような対策が有効か、自分の考えを提言する。</p> <p>2 自分の考えをまとめた文章を発表し、討論する。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>知・技</p> <p>・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア)</p> <p>思・判・表</p> <p>・人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。(読カ)</p> <p>主</p> <p>・進んで主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深め、学習課題に沿って、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付け、新たな観点から自分の考えを論述しようとしている。</p>

月	単元名	教材名 ●学習目標 ◇言語活動例	時	主な学習活動	評価規準
4	【第二部】 「情報社会」を生きる （読むこと）	情報ネットワーク社会 ●情報ネットワーク社会の課題を明らかにする。（読む） ◇関心をもった事柄について様々な資料を調べ、その成果を発表したり報告書や短い論文などにまとめたりする活動。（読む）	8	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「情報ネットワーク社会では、……必要になる」とは、どういうことか説明する。 2 「他人や周囲の者たち……必要がある。」のはなぜか、説明する。 3 「オンラインでの守るべき基本的諸ルール」について具体的に調べ、「情報ネットワーク社会」が抱える課題を発表する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。（(1)ウ） 思・判・表 ・主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。（読む）
擬似群衆の時代 ●メディアと「群衆」の新たな関係を考える。（読む） ◇関心をもった事柄について様々な資料を調べ、その成果を発表したり報告書や短い論文などにまとめたりする活動。（読む）		◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「ビクチャープラネット」とは、地球がどのような状態であるということか、本文に即して説明する。 2 メディアと群衆の関係は、ベルリンの壁の崩壊前後でどのように変わったかまとめる。 3 「ポスト情報化社会」とあるが、その特徴を「二つの増大」の観点からまとめる。 4 「私たちが生きる都市とは、……成立している。」とは、どういう意味か説明する。 5 「待つ群衆」の出現が、実際に芸術や政治の分野であらたな現象を起こしている事例を探し、話し合う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。		主 ・進んで文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深め、学習課題に沿って、資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈し、様々な資料を調べて発表したり話し合ったりしようとしている。	
流言とメディア ●AI時代のメディアリテラシーについて考察する。（読む） ◇関心をもった事柄について様々な資料を調べ、その成果を発表したり報告書や短い論文などにまとめたりする活動。（読む）		◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「インターネットは……情報拡散メディアである。」とは、どういうことか説明する。 2 「私たちは『流言が……必要がある』のはなぜか、筆者の考えをまとめる。 3 「人間がAI化する可能性が高い」とは、どういうことか説明する。 4 「曖昧情報に耐える力」とは、どのような力のことか説明する。 5 「客観的で信頼できる……暮らせるのだろうか。」という筆者の問いかけについて、どう考えるか話し合う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。			
学びを広げる メディアリテラシーについて考える [コラム]ネガティブ・ケイパビリティ 答えの出ない事態に耐える力 ●情報社会を生きるためのメディアリテラシーについて自分の考えをまとめてみよう。（読キ） ◇関心をもった事柄について様々な資料を調べ、その成果を発表したり報告書や短い論文などにまとめたりする活動。（読む）		◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 本単元での学びをふまえ、情報社会を生きるために必要な力について、メディアリテラシーの観点から考えたことを短い論文にまとめる。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。		知・技 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。（(2)ア） 思・判・表 ・設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。（読キ） 主 ・進んで主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深め、学習課題に沿って、必要な情報を関係付けて自分の考えを深め、短い論文にまとめようとしている。	

月	単元名	教材名 ●学習目標 ◇言語活動例	時	主な学習活動	評価規準
5	二 言葉を見つめる日(書くこと)	夢は何語で見る? ●多言語社会の現実や「可能性」について考える。(書イ) ◇特定の資料について、様々な観点から概要などをまとめる活動。(書ア)	8	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「しかし実際は、……たくさんある」との言葉に込められた筆者の思いを、「本当の自分」という言葉に着目して説明する。 2 次の項目について、筆者が経験したことや考えたことを整理する。 ①ケープタウンに着いた日に経験したできごとについて ②ドイツの移民の問題について ③アメリカで読んだ「記事」について 3 「多言語社会」であることが、「重荷」になるか「可能性」になるかの分岐点は、筆者はどこにあると考えているかまとめる。 4 「多言語社会の可能性」について、筆者の考えをふまえ自分の考えを800字程度にまとめる。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。(1)ア) 思・判・表 ・情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。(書イ) 主 ・進んで言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする言葉の働きを理解し、学習の見通しをもって、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら自分の立場や論点を明確にし、自分の考えをまとめようとしている。
		「対話」の言葉をつくる ●「対話」の言葉のあり方を考える。(書イ) ◇特定の資料について、様々な観点から概要などをまとめる活動。(書ア)	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「私たちは、……忘れてはならない。」とあるが、その理由を説明する。 2 「その大きな積み残し……と私は考えてきた。」とあるが、筆者がどのように考えた理由をまとめる。 3 「新しい時代の、……確実に過渡期にある。」とは、どのようなことか説明する。 4 筆者の考える『「対話」の言葉』とは、どのようなものかまとめる。 5 近年、社内で個人を呼ぶときに役職で呼ばず、男女問わず「～さん」と呼び合う企業が増えていることについて、どう考えるか話し合う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。		
		学びを広げる 外来語について考える (資料)カタカナ語は享受すべきか [コラム]「母国」という幻想 ●「外来語の氾濫」についてどのように考えるか、短い論文を書いてみよう。(書オ) ◇特定の資料について、様々な観点から概要などをまとめる活動。(書ア)	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 次の点に留意して、本文の内容を300字以内でまとめる。 ①カタカナ語の使用の現状について、筆者はどのように捉えているか。 ②カタカナ語の使用に批判的な立場からの主張として、筆者はどのような例をあげているか。 ③②でみた主張に対して、筆者自身はどのような立場に立っているか。また、筆者がどのように考える根拠は何か。 2 「平成14年度『国語に関する世論調査』の結果について」を読み、どのようなことが読み取れるか話し合う。 3 同世論調査において、5年ごとに実施されているカタカナ語の使用に関する調査結果を調べ、どのようなことが読み取れるか話し合う。 4 カタカナ語の使用について論じるために、さらに資料が必要であると思われるときは、図書館やインターネットで資料収集を行う。 5 「外来語の氾濫」について、自分の考えを800字程度の論文にまとめる。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。(1)ア) 思・判・表 ・個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。(書オ) 主 ・進んで言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする言葉の働きを理解し、学習課題に沿って、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の考えをまとめようとしている。	

月	単元名	教材名 ●学習目標 ◇言語活動例	時	主な学習活動	評価規準
6	三 共生社会を創造する(書くこと)	母親のための酸素マスク ●いま求められるケアについて考える。(書エ) ◇設定した題材について多様な資料を集め、調べたことを整理して、様々な観点から自分の意見や考えを論述する活動。(書エ)	7	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「母親の自己犠牲は……なんのメリットもない。」とあるが、どのような理由から筆者がそのように考えるのかまとめる。 2 「目のつけどころは同じだ。」とあるが、何がどうい点で同じなのか、筆者の考えを説明する。 3 「母親のための酸素マスク」が必要だと考えられる事例を、母子の問題に限定せずに調べ発表する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。(1)エ)
		講演 持続可能な福祉社会への道 ●「福祉社会」に向けての課題と可能性を理解する。(書エ) ◇設定した題材について多様な資料を集め、調べたことを整理して、様々な観点から自分の意見や考えを論述する活動。(書エ)		◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 次の3つの小見出し部分で筆者が述べていることを、課題と可能性という視点からそれぞれ整理する。 ・コミュニティをめぐる課題 ・これからの社会保障 ・「持続可能な福祉社会」のビジョン 2 「経済成長期には、……課題が出てきました。」とあるが、筆者の言おうとしていることを説明する。 3 「新しいコミュニティづくり……存在である」とあるが、その理由を説明する。 4 「私たちは真の豊かさや……入り口にいる」とあるが、どういうことか筆者の考えをまとめる。 5 「新しいコミュニティづくり」に欠かせない「NPOや町会活動などによる民間福祉活動」の具体例を調べ、その現状や課題について発表する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	思・判・表 ・多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。(書エ)
		学びを広げる 「福祉社会」を考える [コラム]社会的包摂と震災 ●「福祉社会」を実現するためには何が必要か、また、私たちには何ができるのだろうか、自分の意見をまとめてみよう。(書カ) ◇設定した題材について多様な資料を集め、調べたことを整理して、様々な観点から自分の意見や考えを論述する活動。(書エ)		◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 本単元での学びをふまえ、「福祉社会」を実現するために何が必要か、また、私たちに何ができるかを話し合い、短い論文にまとめる。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。(2)イ) 思・判・表 ・文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の長や課題を捉え直したりしている。(書カ) 主 ・進んで情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め、学習課題に沿って、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して文章全体を整え、短い論文にまとめようとしている。

月	単元名	教材名 ●学習目標 ◇言語活動例	時	主な学習活動	評価規準
7 月 9	四 経済について考える(書くこと)	「私」消え、止まらぬ連鎖 ●高度消費社会における「欲望」について考える。(書ア) ◇設定した題材について多様な資料を集め、調べたことを整理して、様々な観点から自分の意見や考えを論述する活動。(書エ)	10	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 筆者は「欲望の外部的」という言葉で、どういことを述べようとしているか、本文中の例を用いて説明する。 2 「欲望のサイクル」とはどういうことか説明する。 3 「一方、消費者という……『私』が知っている。」とは、どういことか説明する。 4 「欲望のための欲望と化した」現代社会において、「私」に問われていることはどのようなことか、話し合う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ)
		落語の中の経済学 ●落語「千両みかん」を経済学的な視点で読み直す。(書ア) ◇設定した題材について多様な資料を集め、調べたことを整理して、様々な観点から自分の意見や考えを論述する活動。(書エ)		◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 『千両みかん』の笑いのポイント)はどのようなところにあるのか、筆者の考えを説明する。 2 「売買という交換によって人々は得をする」のはなぜか、説明する。 3 「オークションでいう『勝者の呪い』』とは何か説明する。 4 東京版と上方版で「千両という値段をつける経緯が異なっている。」ことについて、筆者の説明をまとめる。 5 落語の「道具屋」「はてなの茶碗」「壺算」に、どのような「意外と深い経済学の議論が隠れている。」のか調べ、気づいたことを発表する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	思・判・表 ・実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。(書ア)
		「欲望」と資本主義 ●「欲望の開拓」という視点から資本主義について考察する。(書ア) ◇設定した題材について多様な資料を集め、調べたことを整理して、様々な観点から自分の意見や考えを論述する活動。(書エ)		◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「人間社会の経済問題は……むしろ『過剰』にある」とはどういことか、筆者の考えをまとめる。 2 「こうした蕩尽は……だろうか。」とあるが、筆者は「蕩尽」のもつ意味をどのように説明しているかまとめる。 3 「ここに『消費社会』なるものの原型がある」とはどういことか、筆者の考えを説明する。 4 「この『過剰』の処理……対照的なのである。」とはどういことか、筆者の考えを説明する。 5 「資本主義とは……プロセスだといえる」理由を説明する。 6 「欲望のフロンティアを開拓する」ために展開されている企業の「新機軸」について具体例をあげ、そこにある戦略について話し合う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	主 ・進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習の見通しをもって、様々な観点から情報を収集して適切な題材を決め、自分の考えを論述しようとしている。
		学びを広げる 経済との関わりから 社会的課題について論じる [コラム]「人新世」に生きる ●社会的課題を経済活動と関連させて論じ、課題解決の方策を発表してみよう。(書ウ) ◇設定した題材について多様な資料を集め、調べたことを整理して、様々な観点から自分の意見や考えを論述する活動。(書エ)		◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 社会的課題や環境問題などから関心のある課題を一つ取りあげて調べ、経済との関わりから考えたことを発表する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。(2)イ)
					思・判・表 ・立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。(書ウ)
					主 ・進んで情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め、学習課題に沿って、批判的に読まれることを想定して論理の展開を工夫し、様々な観点から自分の考えを論述しようとしている。

月	単元名	教材名 ●学習目標 ◇言語活動例	時	主な学習活動	評価規準
10	五 国際社会を考える(読む)(こ)	スポーツとナショナリズム ●スポーツとナショナリズムの関係を考察する。(読カ) ◇社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を読み、それらの内容を基に、自分の考えを論述したり討論したりする活動。(読イ)	10	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「スポーツとナショナリズムとの密接な関係」とはどうか、本文の具体例に基づき説明する。 2 「政治的ナショナリズム」と「スポーツにおけるナショナリズム」を筆者はどのようなものだと述べているか、整理する。 3 スポーツにおけるナショナリズムが『『野蛮化』に結びつく危うさを常に持ち合わせている』理由を説明する。 4 スポーツとナショナリズムの結びつきについて、筆者の考えとその理由をまとめる。 5 近年の社会的問題を取りあげ、ナショナリズムにおける「文明化」と「野蛮化」という観点から800字程度で論じる。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。(1)エ 思・判・表 ・人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。(読カ)
		南の貧困／北の貧困 ●現代の「貧困」問題を構造的に捉え直す。(読カ) ◇社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を読み、それらの内容を基に、自分の考えを論述したり討論したりする活動。(読イ)	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「南の貧困」の定義について、筆者の考えをまとめる。 2 筆者の述べる「現代の情報消費社会」についてまとめる。 3 「北の貧困」は「システムの排出物……外部化されるものである。」とはどうか説明する。 4 『『福祉』というコンセプト……消極的な定義をしか受けていない』とは、どうか説明する。 5 『『北の貧困』の存立機制』とはどのようなものか、筆者の考えをまとめる。 6 「貧困」のもたらす社会問題を取りあげ、その背景や対策について調べ、レポートを作成する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	主 ・進んで、文章の構成や展開の仕方について理解を深め、学習課題に沿って、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付け、自分の考えを論述しようとしている。	
		「文化が違う」とは何を意味するのか？ ●「文化相対主義」を検証する。(読カ) ◇社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を読み、それらの内容を基に、自分の考えを論述したり討論したりする活動。(読イ)	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「宗教的な行為とは感じなくなっ」た理由を説明する。 2 「特にその由来を……多くの行為」には、本文で取りあげているもの以外に、どのようなものがあるか調べる。 3 「私たちが彼らは、実はそんなに違わない」とはどうか説明する。 4 「私たちが『理解』……立ち現われてくる」のはどのようなことか、説明する。 5 「このような『文化相対主義』……補完するもの」と筆者が述べる理由を説明する。 6 「文化の違い」を意識する場面とそれとすべき態度について、「新しい普遍性」という言葉を手がかりに話し合う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。		
		学びを広げる 「多文化共生社会」について考える 〈資料〉多文化共生社会の構築に向けて [コラム] 誰かの靴を履いてみること ●「多文化共生社会」の構築のために私たちはどのように行動すべきか、資料を読んで考えよう。(読キ) ◇社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を読み、それらの内容を基に、自分の考えを論述したり討論したりする活動。(読イ)	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 資料の文章を読んで、筆者のいう「多文化共生社会」とはどのようなものかまとめる。 2 二つのグラフからどのようなことがわかるかまとめる。 3 「多文化共生社会の構築」のために、どのようなことをしていくべきか、800字程度にまとめる。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。(2)イ 思・判・表 ・設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。(読キ) 主 ・進んで情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め、学習課題に沿って、複数の資料を基に情報を関係付けて自分の考えを深め、論述しようとしている。	

月	単元名	教材名 ●学習目標 ◇言語活動例	時	主な学習活動	評価規準
11	六 心と向き合う(読む)	恐怖とは何か ●人はなぜ「恐怖」を感じるのか、「自我」との関わりから理解する。(読エ) ◇社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を読み、それらの内容を基に、自分の考えを論述したり討論したりする活動。(読イ)	9	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「人間の感じる恐怖は必ずしも現実の危険に対応していない。」とは、どういうことかまとめる。 2 「最も恐ろしい存在は恐怖している人間である」とはどうか、本文の例を用いて説明する。 3 「怖いもの見たさ」について、筆者はどのように分析しているか整理する。 4 恐怖を感じた経験を振り返り、「自我」と恐怖について話し合う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。(1)エ) 思・判・表 ・文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。(読エ)
		生命との関わり ―精神科医として― ●生命と「相互主体的に関わる」とはどうか考える。(読エ) ◇社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を読み、それらの内容を基に、自分の考えを論述したり討論したりする活動。(読イ)	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「目で見なくても、……ということがある。」とあるがどういふことか、筆者の取りあげる例を使って説明する。 2 「行動するだけで……考えることができない。」とはどうか、説明する。 3 「行為主体として……行為的に関わる」とはどうか、筆者の考えを説明する。 4 「生きている主体……に関わる」とはどうか、身近な例を取りあげて話し合う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	主 ・進んで文章の構成や展開の仕方について理解を深め、学習課題に沿って、論理の展開や表現の仕方について多面的・多角的な視点から評価し、文章の内容をもとに自分の考えを論述したり、討論したりしようとしている。	
		ある〈共生〉の経験から ●極限状況の経験から〈共生〉について考察する。(読エ) ◇社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を読み、それらの内容を基に、自分の考えを論述したり討論したりする活動。(読イ)	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 筆者の述べた〈共生〉の経験は、どのようなものであったか、次の場面においてそれぞれ具体的にまとめる。 ①食事 ②作業 ③睡眠 2 「不信心こそが、……紐帯である」とはどのようなことか、筆者の考えを人間の「孤独」と「連帯」という観点からまとめる。 3 「その後、私が……ほとんどなかった。」のはなぜか、話し合う。 4 他者と「〈共生〉」するとはどのようなことか、本文を読んで考えたことを800字程度にまとめる。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。		
		学びを広げる 「人の心」について考える [コラム]対談 褒めるといふこと ●「人の心」について考えたこと、発見したことを文章にまとめよう。(読キ) ◇社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を読み、それらの内容を基に、自分の考えを論述したり討論したりする活動。(読イ)	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 本単元の教材を読み比べ、「人の心」について新しく学んだこと、考えたことを、短い文章にして発表し合う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア) 思・判・表 ・設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。(読キ) 主 ・進んで主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深め、学習課題に沿って、複数の文章を基に必要な情報を関係付けて自分の考えを深め、論述しようとしている。	

月	単元名	教材名 ●学習目標 ◇言語活動例	時	主な学習活動	評価規準
12	七 「リスク社会」を生きる(書くこと)	コンコルドの誤り ●人はなぜ「意思決定」を誤るのか、人間の思考について考える。(書ア) ◇設定した題材について多様な資料を集め、調べたことを整理して、様々な観点から自分の意見や考えを論述する活動。(書エ)	8	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 筆者は「コンコルドの誤り」について、どのようなものであるとまとめているか説明する。 2 「コンコルドの誤り」に陥った具体例を、本文中から指摘し整理する。 3 動物の行動について、筆者が述べていることをまとめる。 4 「人間の思考は『コンコルドの誤り』を犯しがち」である理由を、身の回りの例をあげて話し合う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。(2イ)
		リスク社会論 ●「リスク社会」の分析をとおして現代社会の諸課題を考察する。(書ア) ◇設定した題材について多様な資料を集め、調べたことを整理して、様々な観点から自分の意見や考えを論述する活動。(書エ)		◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「リスク(risk)と危険(danger)との相違」について、筆者の考えをまとめる。 2 「リスクは、再帰的……状態にはならない。」のはなぜか、説明する。 3 「リスク社会のリスク……特徴がある。」とあるが、「二つの顕著な特徴」についてまとめる。 4 「リスク社会は、古代ギリシア……否定してしまう。」とは、どういうことかまとめる。 5 「こうした態勢は、民主主義的な決定の基盤を切り崩すことになる。」とは、どういうことか説明する。 6 「知から実践的な選択への……成し遂げられないのだ。」とあるが、その理由を次の文に留意して説明する。 ・科学に関して、……成り立たないからだ。 ・学者たちの時間をかけた……発散していくのだ。 7 次の事柄から一つ取りあげ、どのような「リスク」が考えられるか調べて発表し合う。 環境 経済 医学 政治 国際関係 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	思・判・表 ・実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。(書ア)
		学びを広げる 「リスク社会」について考察する (資料)「真水」はわずか二・五% [コラム]レジリエンスとは何か ●「リスク社会」の観点から、身近な水の問題を考えてみよう。(書オ) ◇設定した題材について多様な資料を集め、調べたことを整理して、様々な観点から自分の意見や考えを論述する活動。(書エ)		◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 資料を読み、「リスク社会」の観点から身近な水の問題について考えたことを800字程度にまとめる。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・推論の仕方について理解を深め使っている。(2ウ) 思・判・表 ・個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。(書オ)
				主 ・進んで情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め、学習の見通しをもって、様々な観点から情報を収集して適切な題材を決め、自分の考えを論述しようとしている。	
					主 ・進んで推論の仕方について理解を深め、学習課題に沿って、文章全体の論理の明晰さを確かめて自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫し、論述しようとしている。

月	単元名	教材名 ●学習目標 ◇言語活動例	時	主な学習活動	評価規準
1 2	八 近代・現代社会を考える(書くこと)	<p>コンクリートの時代</p> <p>●コンクリート建築から「近代」という時代の特徴を考える。(書イ)</p> <p>◇社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を参考にして、自分の考えを短い論文にまとめ、批評し合う活動。(書ウ)</p>	9	<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 コンクリートはなぜ「普遍的(グローバル)な建築技術」といえるのか、まとめる。</p> <p>2 「二十世紀とは、そのような寂しい時代であった。」とあるが、どういうことか説明する。</p> <p>3 「コンクリートの時間」、「木造建築の時間」とは、それぞれどのようなことか説明する。</p> <p>4 「コンクリートとは消えゆく……叫び声である。」とあるが、どういうことか説明する。</p> <p>5 これからの時代に求められる「建築」とはどのようなものか、筆者の考えを参考に話し合う。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>知・技</p> <p>・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。(1)エ)</p>
		<p>現代日本の開化</p> <p>●「現代日本の開化」についての漱石の主張を現代の視点から捉え直す。(書イ)</p> <p>◇社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を参考にして、自分の考えを短い論文にまとめ、批評し合う活動。(書ウ)</p>		<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 「西洋の開化……外発的である。」とあるが、「内発的」「外発的」とはどういうことか整理する。</p> <p>2 「開化の推移は……内発的でなければ嘘だ」とあるが、どのような「推論」によって説明されるのかまとめる。</p> <p>3 次の表現は、どのようなことを述べているか説明する。</p> <p>①「天狗にさらわれた男のように……飛びついていく」</p> <p>②「食客をして気兼ねをしているような気持ち」</p> <p>③「子供が背に負われて大人と一緒に歩くようなまね」</p> <p>4 筆者が「きわめて悲観的の結論」に至った理由を説明する。</p> <p>5 「苦い真実を……のであります。」から、筆者のどのような思いが読み取れるか話し合う。</p> <p>6 本教材は1911年のものであるが、現代の社会を考えるとどのような意味をもつか話し合う。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>思・判・表</p> <p>・情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。(書イ)</p>
		<p>漫罵</p> <p>●「開化」の時代に対する透谷の論点を理解する。(書イ)</p> <p>◇社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を参考にして、自分の考えを短い論文にまとめ、批評し合う活動。(書ウ)</p>		<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 「革命にあらず、移動なり。」とはどのようなことか説明する。</p> <p>2 「文字を求めれども、……詩人を求めざるなり。」とは、どのような内容かまとめる。</p> <p>3 本教材は1893年のものであるが、当時の社会について調べ、現代と比較しながら気づいたことを話し合う。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>主</p> <p>・進んで文章の構成や展開の仕方について理解を深め、学習の見通しをもって、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら自分の立場や論点を明確にし、自分の考えをまとめて批評し合おうとしている。</p>
		<p>学問のすすめ</p> <p>●「学問のすすめ」の意義を、「実学」を手がかりに考える。(書イ)</p> <p>◇社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を参考にして、自分の考えを短い論文にまとめ、批評し合う活動。(書ウ)</p>		<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 「『天は人の上に人を造らず人の下に人を造らず。』と言へり」とあるが、筆者のこの言葉の捉え方をまとめる。</p> <p>2 「かしこき人あり、……雲と泥との相違」とあるが、なぜそのような相違が生じるのか、筆者の考えを説明する。</p> <p>3 「身分重き人」と「身分軽き人」を、筆者がどのように説明しているかまとめる。</p> <p>4 「一科一学も……達すべきなり。」とはどういうことか説明する。</p> <p>5 この文章は、どういう「世の中」に向けて、どのようなことを述べたものか、次の部分を手がかりに話し合う。</p> <p>・「人は生まれながらにして……下人となるなり。」</p> <p>・「人間普通の実学にて、……独立すべきなり。」</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	

月	単元名	教材名 ●学習目標 ◇言語活動例	時	主な学習活動	評価規準
		<p>学びを広げる 近代・現代社会を批評する</p> <p>[コラム]神になった動物</p> <p>●現代社会を歴史の中で捉え直し、批評し合おう。(書カ)</p> <p>◇社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を参考にして、自分の考えを短い論文にまとめ、批評し合う活動。(書ウ)</p>		<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 本単元の学びから見えてくる現代の問題について、短い論文を書いて発表し、批評し合う。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>知・技</p> <p>・推論の仕方について理解を深め使っている。(2)ウ)</p> <p>思・判・表</p> <p>・文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。(書カ)</p> <p>主</p> <p>・進んで推論の仕方について理解を深め、学習課題に沿って自分の考えを短い論文にまとめて批評し合い、読み手からの助言などを踏まえて自分の文章の特長や課題を捉え直そうとしている。</p>